

＜テンプレートの説明＞

＜布目線を合わせる＞

布目の方向

みみ

テンプレートの型を写す時の1回目に、印字「布目線」と、布目の方向(図参照)を合わせます。
※2、3回目、5、6回目は合いません。

クラウン

クラウン

サイズ
サイズ元(頭回り)の
出来上がり寸法(cm)

テンプレートで作れる
代表的な帽子の名称と
形を表しています。

商品の名称と規格

ブリム

＜合印をつける＞

正確に縫い合わせるために必要な印です。
印が印字されている方の切り込みをなぞり印をつける。

縫いしろの合印に、はさみで2~3mmのノッチ(切り込み)を入れ、縫い合わせる時の目印にします。

ブリムAでは「前中心」にもノッチを入れて下さい。

＜合印をつける＞

正確に縫い合わせるために必要な印です。合印を合わせて待針をうちます。

印が印字されている方の切り込みをなぞり、印をつける。

切り込みをそのままなぞらないで下さい。

＜布目線を合わせる＞

布目の方向

みみ

ブリムBは2枚別々に裁断します。

ブリムB

ブリムA

ブリムB

つばの角度が、なだらか

つばの角度が、急下がり

＜布目線を合わせる＞

布目の方向

みみ

ブリムAは(わ)の印を中心に、テンプレートを左右対称にひっくり返し、一枚につなげた型にします。

ブリムAとブリムBは傾斜がちがいます

つばの角度が、なだらか

つばの角度が、急下がり

ブリムAの穴を利用すれば巾の狭いブリムも作れます

出来上がり線

縫いしろ線

テンプレートははずした後に書き足してつなぐ

書き足してつなぐ

＜ぬいしろのとり方＞

テンプレートの線に付属の「ぬいしろライナー」をセットします。

ぬいしろライナー

クイック帽子テンプレート

ぬいしろライナー

クローバー「水性チャコペン」「布用シャープペンシル」などのペン先を入れ、テンプレートに沿って転がすようにパターンを描きます。

側面の溝にテンプレートをはさみます。

1cmの縫いしろが描けます

クイック帽子テンプレート

角の縫いしろが曲線になりますが、裁断の際は、直線に伸ばしたラインでお切り下さい。

＜サイズテープの取り付け方＞

サイズテープ

ブリムとクラウンを縫い合わせた縫い目

テープのはぎ目を後ろ中心に合わせる

① サイズテープはサイズ元寸法(頭回りの出来上がり寸法)+2cmにカットし、1cmの縫いしろで縫い合わせ、輪にする。
輪をかぶってサイズがフィットするか確認をしましょう。
4等分になるように待針を打ち、前後両脇の合印にする。

② プリムの縫いしろにサイズテープを重ね、前後両端の合印を合わせる。^^^のステッチ側の端をプリムの縫い目位置に合わせ、待針でとめる。

③ 後ろ中心からスタートして、サイズテープのきわをぐるっと一周縫う。縫い終わりは縫い始めに2~3cm重ねる。

裏ブリム

クラウン

組み合わせ方で帽子の形のアレンジがいろいろ！

		＜ハット＞にセットされているテンプレート			
		ブリムA	ブリムA	ブリムB	
クラウン					
ハットVにセットされているテンプレート	チュリップハット				
	キャブリン				
	クロッシュ				
ハットV(別売)にセットされているテンプレート	キャップ				
	キャスケット				
	ベレー				
	タック入キャスケット				

内イラスト作品は、裏面の作り方に載せている作品です。

基本のクラウンの作り方

※ ----- : 縫い線を表しています。

1. 生地に接着芯を貼る。中温(140~160°)で上から押さえるようにアイロンをあてる。(ドライ:約10秒) ※接着芯に霧吹をすると、熱が伝わりやすく、接着しやすくなります。

2. テンプレートに沿って、出来上がり線を写す。最初に型を写すときは、布目の方向に布目線を合わせる。 ※六角形の中心の穴を支点に回転させ、4.の形が入るか確認して下さい。

3. 付属のぬいしろライナーを使って縫いしろを描く。六角形の部分がずれないようにしてテンプレートを1/6回転させ、それぞれ出来上がり線と縫いしろを描いていく。

4. 縫いしろラインに沿ってカットする。丸い角は、直線でカットする。

5. 待針でとめ、立体にしてミシンをかける。この時点でかぶって、サイズを確認しましょう。

6. アイロンで縫いしろをわる。

豆知識
縫いしろ1箇所につき1mm内側を縫うと、頭回りサイズが2mm小さく、1mm外側を縫うと、2mm大きくなります。(6箇所全てだと12mmの差になります。)

ぎりぎりまで切り込みを入れる

帽子のサイズに関わるので正確に縫う

六角形の角から、すそまでを縫う。縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをする。

先の方は片倒し

◎裏地も同様にして、作ります。(裏地に接着芯は必要ありません。)

チューリップハットの作り方

チュリップハット テンプレートを使用

合印を合わせながら待針でとめ、ミシンをかける

表布と裏布を各はぎ目位置に合わせて中表に合わせる。返し口を残して、ミシンで出来上がり線を縫い合わせる。

返し口から表に返す。

返し口の縫いしろを内側に折って、閉じ合わせる。

縁に表からステッチをかける。

0.5~0.8cm

きれいに仕上げるコツ
表に返す時に合印部分の縫いしろに5mmくらいの切り込みを入れる

閉じ合わせ方
折り山に直角に糸を渡す。

バッグの作り方

チュリップハットを逆さにして、好みの持ち手をつける。

はぎ目に合わせる

キャブリン クロッシュの作り方

*通常(サイズテープをつける)とリバーシブルを紹介

作り方が選べます

- キャブリンのブリムの作り方
 - 通常の作り方
 - リバーシブルの作り方
- クロッシュのブリムの作り方
 - 通常の作り方
 - リバーシブルの作り方

キャブリンのブリムの作り方

ブリムA

わを中心にテンプレートをひっくり返して左右対称のブリムを作る。

表布の裏にしっかりと接着芯を貼る。「ブリムA」のテンプレートを使い、出来上がり線を写し、付属のぬいしろライナーで縫いしろを描く。

表裏1枚ずつ作る。

はさみの先で2~3mmの切り込みを入れる。

2枚のブリムを中表に合わせ、縁回りを縫い合わせる。

アイロンで縫いしろを表布側(接着芯の貼ってある方)に倒す。縫いしろを0.5cm巾にカットし、表に返す。

きれいに仕上げるコツ

0.8cm

0.5~0.8cm

サイズ元(頭回り)の布端から0.8cmの位置にミシンをかけ、縫いしろに1.5cmくらいの間隔で縫い目ギリギリまでの切り込みを入れる。縁回りにステッチをかける。

クロッシュのブリムの作り方

ブリムB

表布の裏にしっかりと接着芯を貼る。「ブリムB」のテンプレートを使い、出来上がり線を写し、付属のぬいしろライナーで縫いしろを描く。表布、裏布それぞれ、2枚ずつ作る。

表布、裏布共それぞれ中表に合わせ、両脇を縫い合わせる。

2枚のブリムを中表に合わせ、縁回りを縫い合わせる。

アイロンで縫いしろを表布側(接着芯の貼ってある方)に倒す。縫いしろを0.5cm巾にカットし、表に返す。

きれいに仕上げるコツ

0.8cm

0.5~0.8cm

サイズ元(頭回り)の布端から0.8cmの位置にミシンをかけ、縫いしろに1.5cmくらいの間隔で縫い目ギリギリまでの切り込みを入れる。縁回りにステッチをかける。

通常(サイズテープをつける)の作り方

イラストは「キャブリン」テンプレートを使用

表布の中に裏布を外表に合わせて入れる。各はぎ目位置に合わせて、サイズ元(頭回り)を待針でとめ、布端から0.5cmの位置にミシンをかける。

クラウンとブリムを前後両脇を合わせながら待針でとめ、出来上がり線で縫い合わせる。

ブリムのサイズ元(頭回り)の縫いしろにサイズテープを重ね、出来上がり線のきわに待針でとめる。サイズテープのきわにミシンをかける。(裏面:「サイズテープの取り付け方」参照)

クラウン下端に表からステッチをかける。

0.2~0.5cm

ブリムA キャブリン

ブリムB クロッシュ

前後両脇の合わせ方

リバーシブルの作り方

イラストは「クロッシュ」テンプレートを使用

※表裏それぞれのクラウンに接着芯を貼って下さい。

表クラウンにブリムをつける。前後両端を合わせながら待針でとめ、出来上がり線で縫い合わせる。

裏クラウンの中に表クラウンをブリムごと中表に合わせて入れ、返し口を残して縫い合わせる。

返し口は8cmくらい残しておく。返し口の両端は必ず返し縫いしておく。

返し口から表に返す。返し口の縫いしろを折り、ブリムの縫いしろに待針でとめる。

返し口を閉じ合わせ、クラウン下端に表からステッチをかける。

0.2~0.5cm